

2016年(平成28年)7月20日(水) 第3回 例会 (通算2709回)



人類に
奉仕する
ロータリー

Weekly Report

No.2594

Rotary International District2580

石垣ロータリークラブ

地区ガバナー：上山 昭治氏

「出会いを大切に」



RI 会長：ジョン・F・ジャーム

石垣ロータリークラブ

石垣ロータリークラブ55年のあゆみ

1964～1965 年度



四代会長 永野 善三郎

副会長	浦崎 永恭	幹事	宮城 信勇
副幹事	向井 信雄	幹事	大兼 理増
会場監督	下地 恵光	クラブ奉仕	石垣 信亨
社会奉仕	上原 秀夫	職業奉仕	大浜 英宣
国際奉仕	長田 信一		

- 牧志宗得君、奥平広一君、山川実君三医師の協力で離島無医地区の無料診療を実施。(1964.9.4)
- 防犯協会へ防犯灯 100 球を寄贈。

＜社会情勢＞

- 1965 年 ・市議会にて埋立地の名称「美崎町」に満場一致
- ・佐藤総理大臣初来島
 - ・与那国航路の開港
 - ・カツオエサ台湾から導入
 - ・稲の3毛作初の成功
 - ・波照間、小浜、黒島、竹富、無線電話開通
 - ・冬將軍石垣島を包む。平年より5度低め

【RIテーマ】

Let Us LIVE ROTARY

ロータリーに生きよう



1964～65 年度 RI会長
チャールズ W. ペッテンギル
(米国・グリニッチRC)

会 長	： 前木 繁孝	副 会 長	： 大浜 一郎	幹 事	： 前原 博一
副 幹 事	： 宮城 早人	SAA・出席	： 遠藤 正夫	情報・会報	： 宮良 薫

例会日 水曜日 12:30～13:30
 例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311
 事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX(0980)83-2917
 URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
 E-mail ishirota@ninus.ocn.ne.jp

- 司会進行：遠藤 正夫
- ロータリーソング：手に手つないで・四つのテスト
- ゲスト卓話：中山 義隆氏(石垣市長)
- ゲスト：上勢頭 美保氏(上勢頭 保会員令夫人)
- ピジター：大森 貞男氏(黒磯 RC)

■出席報告

会員総数 41名 出席義務会員 40名
 出席数 30名 欠席数 10名
 出席率 75.00%(7月通算出席率 67.50%)

 **本日のここここ**

	小計	累計
BOX	¥6,000	¥12,000
コイン	¥4,205	¥21,442
合計		¥33,442

- 中山市長をお迎えして。ありがとうございました。
(前木 繁孝)
- 大森貞男様、本日メイヤップありがとうございました。
(前原 博一)
- 上勢頭先輩、石垣 RC 歴史 55 年の中で 5 番目の米山功労者有難うございます。(仁開 一夫)
- 上勢頭保さん米山特別寄付有難うございました。
(大浜 勇人)
- 妙心寺派沖縄教区宗務所長になりました。
(小林 昌道)
- 今年度 SAA の委員になりました。何も分かりませんが、よろしく願い致します。(小底 厚子)

幹事報告：前原 博一

《第1回理事会報告》

1. 11月27日にロータリー財団100周年記念シンポジウムがあります。協賛金協力をお願いという事で、予算の中から一人250円を寄付することが決まりました。
2. 前年度の10月にゆいの会清掃活動プロジェクトとして地区補助金を受けましたが、今回収支の報告がありまして、地区補助金の全体の件数が23件、総額が7,288,880円で当クラブも補助金として20万円を頂いております。
3. 地区研修会のお知らせです。第2回地区研修会を8月4日、東京のロイヤルパークで、入会3年未満の会員を対象にロータリーの心と原点、基本に戻ろうと題して研修会が行われます。東京ではありますが、もし日程が合えばぜひ参加をお願いしたいと思います。

会員からのお知らせ

宮城 早人会員
 八重山経済人会議からご案内ですが、来る7月31日 ANA インターコンチで李登輝元台湾総統が来島されて講演会を行います。ぜひ成功させて、この石垣の地で李登輝さんが講演をする意義をし

っかり捉えて、大勢の方に聞いて頂けたらと思います。同じく7月31日午後5時半からレセプションがありまして、参加費15,000になりますが、会員の皆さんにはぜひ参加して頂ければと思います。元国家元首の方とお近づきになるパーティーもなかなかないと思いますので、ご参加よろしく願い致します。

上勢頭 保会員

皆さんのテーブルに3万年前の航海徹底再現プロジェクトという国立科学博物館からのパンフレットを置いてありますが、今与那国でヒメガマという植物を使って3隻ほど出来上がっておりまして、台風後南風が強くて出航ができず与那国で待機中であります。石垣市や竹富町、教育委員会を含めて応援をして頂いておりますので、18日の海の日までに間に合わせて1隻は石垣に私のヨットで引っ張って来て、子ども達にも体験をさせたいと思っておりますので、ぜひ応援をして頂きたいと思っております。今回は与那国から白浜の外パナリと内パナリに着ける予定で、来年の4月には台湾与那国間を航海する予定ですので、応援をお願いしたいと思います。

 **ロータリー米山記念奨学会 特別寄付贈呈式** 

上勢頭 保会員

思い返せば16年前の2000年に石垣RC会長に就任をさせて頂きました。故指田パストガバナーの下、カンボジアの地雷除去などを通じて素晴らしい人たちに会う機会をロータリーは私に与えてくれました。一番心に残るのはもちろん指田先生です。ロータリアンとはいかに生きるべきかを身をもって教えて頂きました。竹富島を宝の島に、沖縄をアジアの玄関口にと私利私欲を捨て、走り続けてきた我が人生、色々な事がありました。私も67歳を迎え、問題解決のため一緒に走り続けてくれた妻が還暦になりましたのを機会に、現場で陣頭指揮を執り走り回るだけではなく、大所高所から一歩引いて広い視野で情勢を見極めていける人格に私たちも一歩前に進むべきだと思えました。人材は人の財産と書きます。地域を引っ張る、未来を担う若者たちが一人でも多く育ちますようにと願いを込めて、ここに公益財団法人ロータリー米山記念奨学会に50万円を寄付させて頂きます。



会長挨拶：前木 繁孝

只今上勢頭さんから米山記念奨学会への多大な寄付を頂きました。しっかりと会に届けさせていただきます。先週新パスト会長からバッチを引き継ぎました。いよいよ本日から皆様のお役に立つために頑張っていきたいと思っております。出席表を作りましたが、日数を数えますと45回なんです。既に2回消化していますから、残すところ43回。こう考えると1日1日大事だなという気持ちが強くなりました。ぜひ1回1回の例会が有意義で、今の時間が過ぎ去っていくのがもったいないという気持ちになるような楽しい例会に形作って行きたいと思っておりますので、楽しみにしてください。

本日は石垣RCの名誉会員でもあります石垣市長の中山義隆様に卓話をお願いしております。本当に公務のお忙しい中お越しいただきました。今日はどんなお話をされるのか、楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。

ゲスト卓話：中山 義隆氏

石垣市長



本日は現在、石垣市が取り組んでいる中で代表的なものを3つご紹介したいと思います。

石垣市では石垣牛とか石垣島の名前に関したブランドを育てて行きたいという事で、石垣独自の強みを考えて、最初にパイナップルのブランド化に取り組むことにしました。そして石垣島パイナップルをさらに呼び込むために「パイナップルの日」を制定しました。「パイナップルの日」は沖縄県と農林水産省が8・1（パイナップル）で制定されています。沖縄本島北部のパイナップルの産地の最盛期に合わせているので、8月1日に決まりました。その後民間ではドーラが8月17日（パイナップル）で「パイナップルの日」と制定しました。そういう事を考えると、石垣市は自分達だけでパイナップルの日を制定してもいいんじゃないかという事に至りまして、6月1日を「パイナップルの日」と決めさせていただきます。石垣のパイナップルは種類がいくつもありまして、6月に入ってから質の良い物が出てくるので6月1日としました。

石垣のパイナップルのブランド化につきましては、ある程度市も絡んで味と品質を管理しているということになっています。カーバイト処理されて出ると、フライングと言いまして、実際に美味しくないのにどんどん出荷する、他がまだ実が

出てないうちに出せばもちろん買う人が沢山いる事になるんですが、そういった事を止めようと、最終的には世界に誇る夏の味覚として石垣島パイナップルを売り出していくと、この24度という緯度と酸性土壌という限られた地理の特性を生かしていきたいと思っています。

パイナップルの種類として、N67-10が石垣で一番多い品種で、45%を占めています。7月上旬がピークで一番美味しい時期です。次にボゴール、スナックパイナップルとして知られ6月下旬から出てきます。次に正式にはソフトタッチ、ピーチパイナップルと呼ばれてまして、桃のような香りで人気があります。これも6月下旬ごろです。また生食用のパイナップル、新品種が出始めています。ただまだ苗の不足で流通に乗るまでは至っていませんが2種類ありまして、1つはゴールドバレルといいまして、実が一番大きいです。1.4キロくらいある大きな実をつけますが、とても甘くて美味しいという事で、これから高い値段で売るための主力になって来るのかなと思われています。次にジュリオスター、1.2キロくらいで大きいです。これは収穫してからの日持ちが非常に長いという事で、島外に送る場合にはジュリオスターがメインになってくるのかなという話です。

パイナップルをブランド化していく中で、単純に生で売るだけでは限られるし、台風が来たり、時期によってどうしても出荷できなかつたり、実の形が悪くなったりするものがあります。そういった物を含めて加工して、6次化しているということになっております。6次化するにあたって、まず石垣島にパイナップルの加工場を実証実験しているという事で、石垣市が一括交付金を活用しまして、平成27年度から取り組みました。今商工会に受託してもらい、パイナップルを原料にした加工品を作っていくとスタートしています。

次に星空保護区認定への取組です。皆さんご存知の南の島の星まつり、2002年から始まって、今年で15回目になります。サザンゲートブリッジを渡った先の南ぬ浜町で毎年やっていますが、旧暦の七夕が一番近い休みの日に開催しています。今年も行いますが、星まつりについては夕涼みライブの後に星空観望会を行っています。この観望会の時に皆様をお願いしているのが、ライトダウン、石垣の街から明かりを消して星空を見ようという事になっています。当初は皆さん協力して頂きましたが、回数重ねるごとにマンネリ化して、なかなかライトダウンがされない状況になっています。今回新しい趣向で八重山商工の子ども達を入れて、星空ワークショップを開催しました。行政が呼びかけしているだけではライトダウンが進まなくなっていますので、どういうふうになればライトダウンが上手く出来るのか、また星空を活用した観

光も伸ばしていきたいと思っていますので、高校生の斬新なアイデアが欲しいという事で、子ども達に投げかけています。その結果がもうすぐ出てくると思いますので、どういう形でライトダウンするのか楽しみにしています。

そして、国内初の「星空保護区」認定をめざしてという事ですが、ダークスカイ協会というのがあります。言葉の通り暗い空を目指している団体ですが、世界中に星を見れる、認定された場所があります。国内ではまだ認定されておりません。星空保護区を制定して国際ダークスカイ協会から国内初の星空保護区として認められるように取り組んでいるところです。石垣島の空を星空保護区に制定して、今増えつつありますが、夜の観光という事で、星空を見せて行こうと考えています。

最後に石垣島 Creative Flag についてですが、石垣島にはいろんな才能を持った方々がいらっしやいます。デザイナー、イラストレーター、カメラマン、そういった人たちを集めて石垣島に関係する人、住んでいる人でもいいですし、石垣出身で本土で活躍している方々、逆に石垣の事をテーマにしている方々を集めました。Creative Flag という名前を 2013 年の秋に事業をスタートしまして、当初は石垣市が何かイベントをする、何か観光のロゴが欲しい、ポスターが欲しい、という時に Creative Flag のデザイナーの皆様方に募集を掛けます。それで仕上がった物に対価を払ってました。この話が広がりまして、いろんな方々から逆に注文が来るようになりました。今 Creative Flag という名前をそのまま使って、会社組織にしました。行政の中でスタートした事業ですが、今は市の手を離れて、一緒に取り組んでやっていますが、オーダーを受けたら、その中で発注してそれぞれの受けたデザイナーやカメラマンが仕事の対価を得る。それを一部事務組合のような形になっていまして、そこに事務費を出して頂くことによって全体的な運営も Creative Flag としてやっていこうという事になっています。

先ほどの石垣パインのロゴも Creative Flag のデザイナーにお願いしました。これはどんどん波及効果が出てきていまして、今回の石垣島パインのような、新しい商品を開発したんだけど、ロゴやパッケージやデザインをどういうふうにしたら分からないという時には Creative Flag に投げかけて、アイデアをもらって商品を作っていく。それをまた販売するという形で、それぞれ別に動いていたものですが、今有機的に結びついていきます。今後観光客が伸びていく中で、さらに付加価値の高い観光地として頑張っていくために、デザイン的なもの、石垣の特質を持ったもの、他所に真似できないものを作って行きたいと思いません。特に最近ヨーロッパのお客様も増えています

ので、海外からのインバウンドのお客様にとって、日本の中でも、沖縄の中でも石垣は特別な所だねというブランド化をして行こうと考えています。

今日は 3 つほど新しい事業の取組をご案内させて頂きました。短い時間でしたがありがとうございました。

～米山について～

国際・米山委員長：大浜 勇人

米山についてご説明したいと思います。公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は日本のロータリーが共同で運営する奨学財団です。米山奨学会では日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っています。事業の使命として、将来日本と世界とを結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する事です。ロータリーの目指す平和と国際理解の推進を図る事業です。

日本のロータリーの創始者、故米山梅吉翁の偉業を記念して、東京ロータリークラブで 1952 年に始めた事業です。

～例会風景～



今日は5卓が一杯になりました。

黒磯 RC の大森さんとバナー交換